

令和4年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

4年

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	<p>○読むことの到達度 80%以上となっているが、自分の意見を発表することを課題としている児童が多い。</p> <p>○漢字の定着に差がある。（到達度 30%～100%）</p>	<p>○自分の考えをノートに書く機会を多く設ける。また、意見交換の場を設定して、自分の意見を発表することに慣れるようにする。友達と意見交換をするなかで、自分の考えに自信がもてるようにしていく。</p> <p>○学習した漢字を使うようにする。漢字テストを週に1回行うことで、漢字の定着を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の関係を押さえて心情を把握するなど、読むことの到達度に差がある。 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることに課題が見られる。
社会	<p>○学習内容の知識としての定着度は高いが、思考力や表現力を働かせる場面での活用力に差がある。</p> <p>（到達度 57%～100%）</p>	<p>○自分たちの生活との関連付けを意識し、関わる人々の思いを想像したり、自分たちにできることは何かを考えたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を効果的に活用して表現する力が不十分である。 ・社会的事象の意味について考えたり、調べたことや考えたことを表現したりする力が不十分である。
理科	<p>○観察・実験に取り組む意欲は高く、到達度が75%以上となっている。だが、予想を立てたり、考察したりする、自分の考えをまとめることを苦手としている児童が多い。</p>	<p>○既習事項を確認するとともに、自分の経験を振り返りながら予想を立てるようにする。</p> <p>○意見交換の機会を設定する。予想や考察、その根拠について話し合うことで、自分の考えをもてるようにするとともに、自信がもてるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の条件整理、実験結果の考察などの科学的思考・判断・表現の到達度に差がある。
体育	<p>○体育に対する意識に大きな差があり、意欲的な児童と意欲的になれない児童に分かれてしまっている。</p>	<p>○全ての児童が運動の面白さや達成感を味わい、楽しみながら運動に取り組めるように、習熟度別に場を設定したり、スモールステップで達成感を味わったりできる指導計画を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の学習に意欲的な児童は多いが、自分の学習課題を見だし、その解決に向けて思考し、判断する力が不十分である。

<p>学習の時間 総合的な</p>	<p>○意欲的に活動できるが、まとめることや自分の意見をもつことに課題が見られる。</p> <p>○パソコンの操作速度に個人差がある。</p>	<p>○分かりやすくまとめられるように、国語等の既習事項を確認したり、見本などを提示したりしてまとめる方向を知らせる。</p> <p>また、自分の意見をまとめる時間を十分にとる。</p> <p>○調べ学習で検索エンジンを使って調べ、パワーポイント等を活用してまとめたり、発表したりできるようにする。</p>	<p>・自ら課題を設定し情報を整理する力はできている。しかし、情報を発信する経験が乏しく、表現する力が不十分である。</p>
-----------------------	---	---	--